ARCHITREND ZERO

3D建築CADシステム アーキトレンドZERO

［Ver.12 の新機能］

2025 年 10 月リリース版

目次

ARCHITREND ZERO Ver.12の新機能　2025年10月リリース版

物件選択 1
iPlanView連携 1

処理選択 1
IFC書き出し 1

ATDrive・AT ONE 2
AT ONEメニューの追加 2
Modelioファイルの取り込み 2
プラン緊急バックアップ 3

ヘルプ・BEST FAQ 4
Webヘルプへの移行 4
BEST FAQ認証方法の変更 5

平面図 5
耐震チェック 積雪考慮 5

立面図 5
法規LVS寸法の改良 5

法規LVS 6
採光計算 複数遮蔽物の根拠表示 6
換気計算一覧表 7
排煙計算一覧表 7
有効面積「開き角度」の拡張 7

木造壁量計算2025 8
基準法の積雪考慮 8
有効細長比の任意入力結果を出力 8
一括自動の床面積連動元を拡張 9
壁倍率5倍のユーザー仕様を追加 9
平面図に準耐力壁等を描画 10
計算書一括出力時のNGチェック 10
有効細長比の申請精度向上 11
計算書一括出力の申請精度向上 11

省エネ仕様基準 12
誘導基準対応：性能基準切り替え 12
増改築対応：省エネ仕様基準自動 13
増改築対応：増改築既存部分 13
増改築対応：各図表の「申請床面積」表記 13
増改築対応：床面積表 13
増改築対応：平面、断面 14
増改築対応：凡例 14
増改築RC物件対応：平面・断面の断熱範囲 15
増改築RC物件対応：断熱仕様凡例 15
設備機器の自動配置に対応 16
設備機器一覧表から仕様入れ替えに対応 17
設備機器一覧表で照明をまとめて表示 17
設備機器機能拡張：配置後の文字移動 18
仕様表にアイコン追加 18
法改正対応：ガラス三層の仕様 18

外皮性能計算 19
2025年７月改訂の熱貫流率に対応 19
バルコニー断熱方法 屋根・天井選択可能に 19
仕様セットの基礎 浴室と玄関に対応 20
外皮性能計算表「計算基準年度」非表示 20

ARCHITREND ZERO Ver.12 の新機能

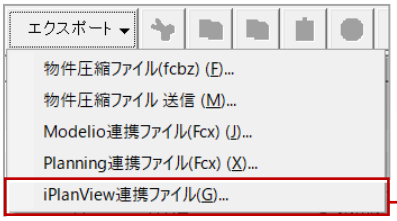
物件選択

iPlanView 連携

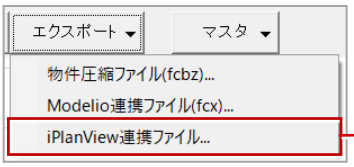
「エクスポート」メニューに iPalnView 連携機能を追加しました。
選択物件を「iPlanView」の「プラン集」への連携ファイル（.iplz）として出力します。

住宅セールスプラットフォーム
iPlanView
2025年 10月1日 リリース

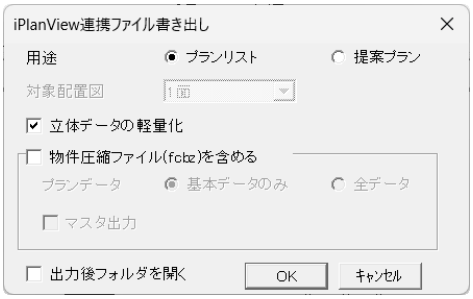
住宅セールスプラットフォーム 「iPlanView（アイプランビュー）」は、株式会社ダイテックからリリースされた、iPad で動作する住宅営業商談支援システムです。
詳しくは、FC Apps Direct の製品紹介ページをご確認ください。

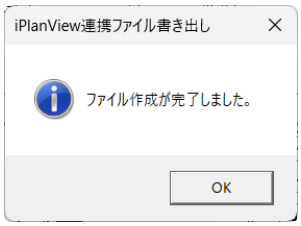


【ZERO データ管理】



【ATDrive／AT ONE データ管理】





処理選択

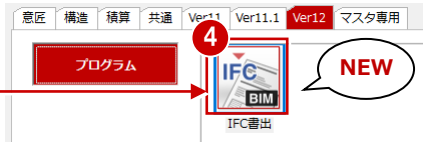
IFC 書き出し

2026 年 4 月より開始される BIM 確認申請に添付が必要な IFC データの出力に対応しました。
BIM 確認申請に IFC データを添付することで審査の効率化に寄与します。

バージョンアップをして ZERO Ver.12 にした場合には、初回物件起動時に下記の操作手順を実施することで、「IFC 書出」コマンドを表示することができます。処理選択メニューに個別に新アイコンを表示しない場合は「現在の状態」を選択してください。
詳細については、お客様サポートサイト「インストール/認証・起動－その他お困りごと－アップグレード（バージョンアップ）時のよくあるお問い合わせ」「**Q：物件を開いたときに「処理選択の確認」ダイアログが開きます。どれにチェックを入れればよいですか？**」を確認してください。

【 Ver.11.1 の「申請・性能（2025）」のメニュー】

【 Ver.12 の「申請・性能（2025）」のメニュー】



ATDrive・AT ONE

AT ONE メニューの追加

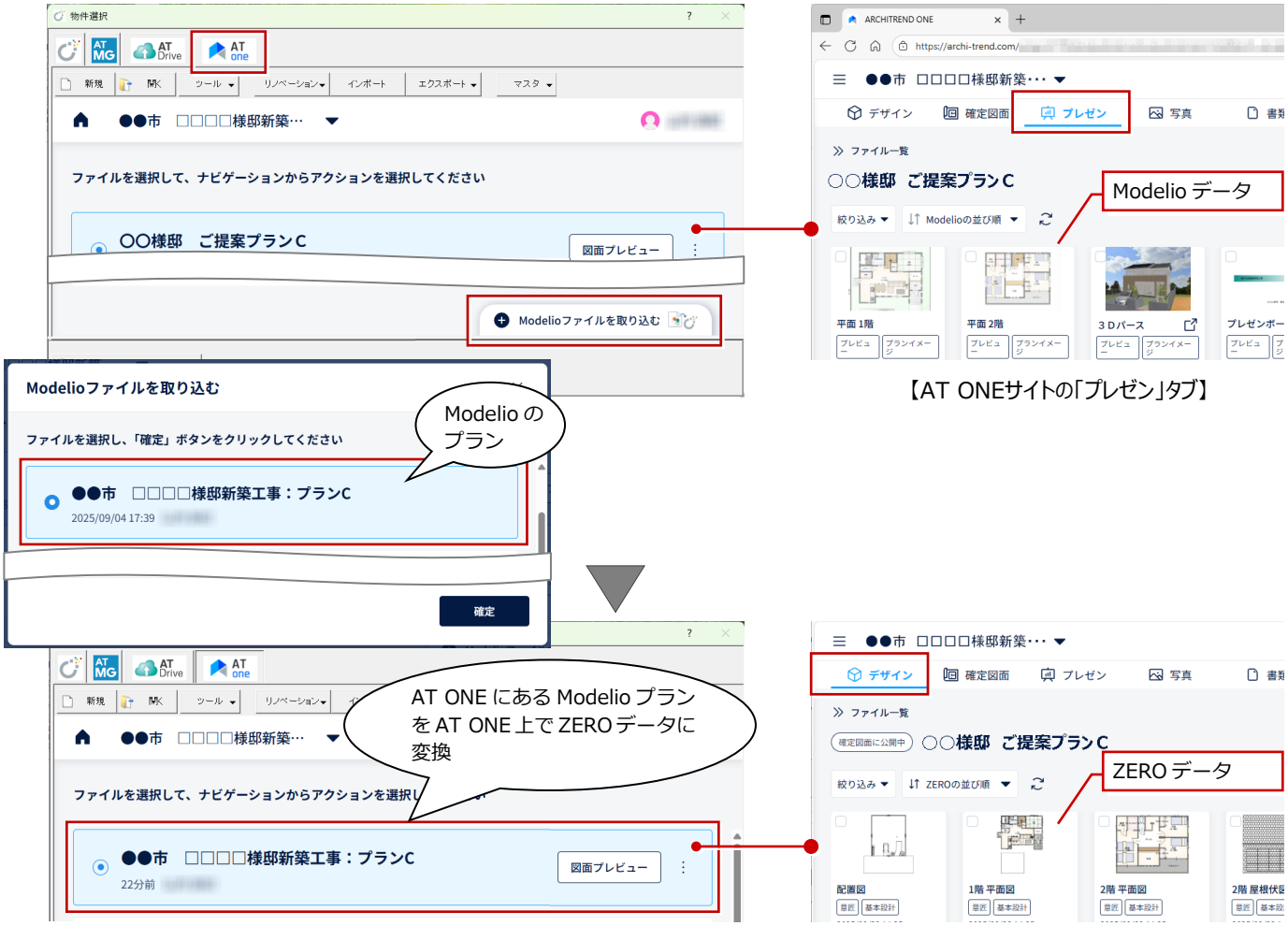
ZERO／ATMG 管理モードに「AT ONE」メニューを追加しました。

物件をアップロード	ATONE サイトの「デザイン」に ZERO 物件をアップロードします。
物件をダウンロード	ATONE サイトの「デザイン」にあるデータを物件一覧にダウンロードします。
編集中の物件を取り込む	キャッシュに残っている AT ONE デザインデータを物件一覧にダウンロードします。 ※サイトへアクセスできない時の緊急バックアップ的な機能です（P. 3 を参照）
サイトを開く	契約中の AT ONE サイトを開きます。

※　各機能の手順は ZERO Ver.12 ヘルプを参照してください。

Modelio ファイルの取り込み

AT ONE サイト（「プレゼン」タブ）に登録されている Modelio データを ZERO に取り込む機能を追加しました。
取り込むと AT ONE サイトの「デザイン」タブに登録されます。
「ATONE」データ管理の「Modelio ファイルを取り込む」より実行します。

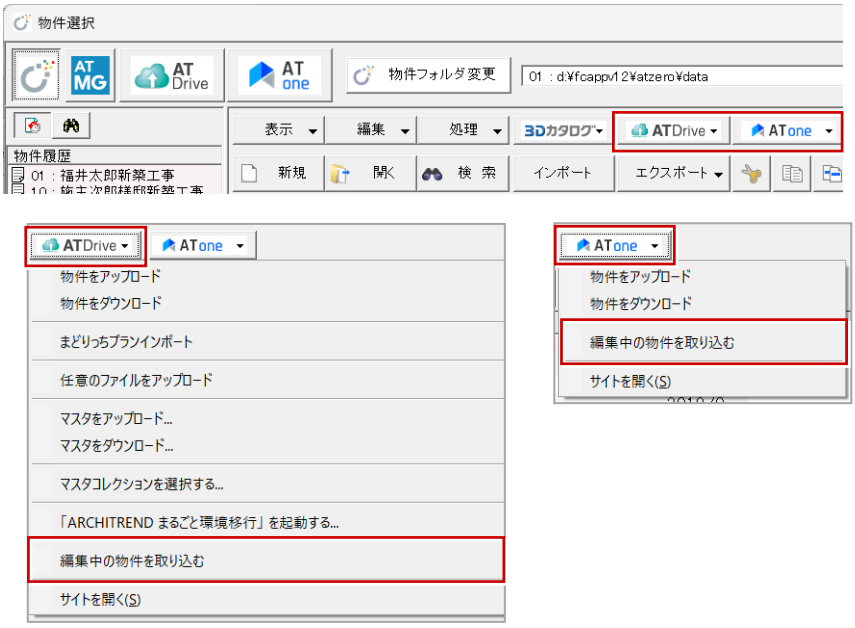


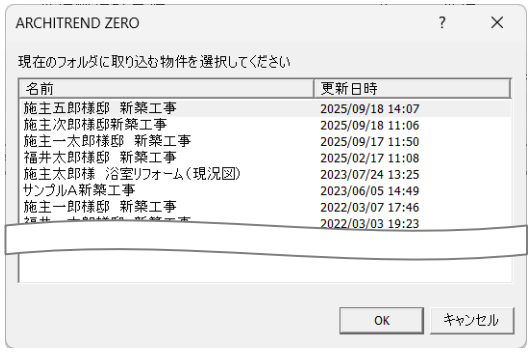
プラン 緊急バックアップ

ATDrive サイト、AT ONE サイトのプランデータがメンテナンスなどでアクセスできない場合に、キャッシュ内のプランデータを現在指定しているフォルダに取り込むことができます。

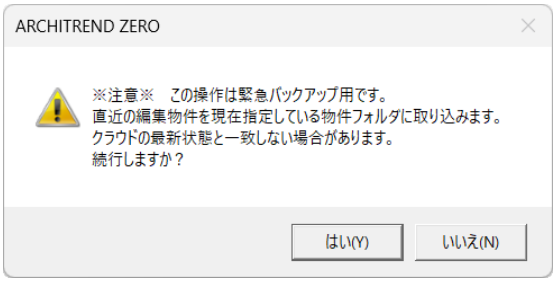
※ サイトメンテナンス時などの緊急バックア ップ用の機能となります。

下図（ATDrive 例）の様なキャッシュ内プラン一覧から選択して取り込みます。
キャッシュ可能な件数は基本設定を参照します。最大件数を超えた場合は古い順から自動的に削除されます。



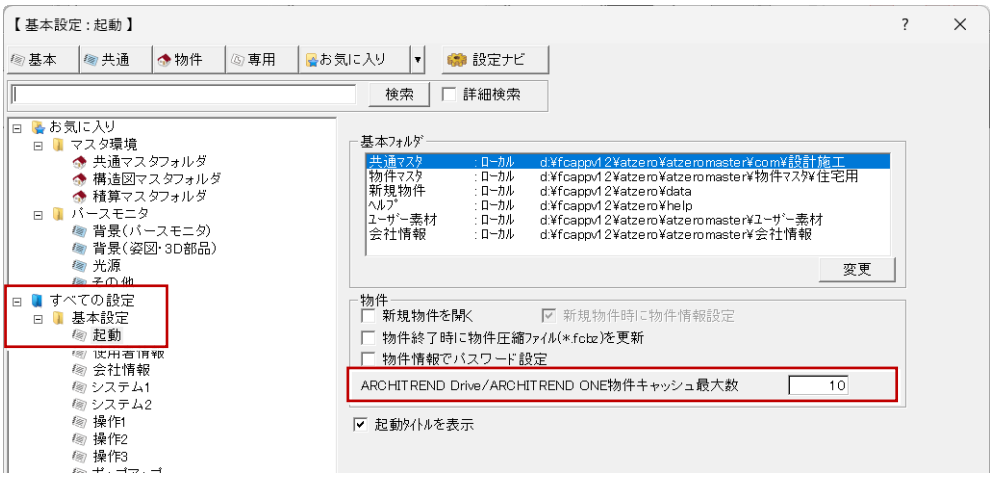


機能の特性上、サイトに保管した場合の最終保存状態（内容や更新時間）と、キャッシュに保管された状態は異なりますので、取り込み後はプラン内容をご確認ください。
（操作中に、下図の様なメッセージが表示されます）



補足

キャッシュ可能な件数は、「基本設定」－「起動」の「物件キャッシュ最大数」で設定することができます。
（初期値：「10」）
ATDrive、AT ONE のそれぞれに設定値が反映します。
※下図例：ATDrive（～10 件）、AT ONE（～10 件）

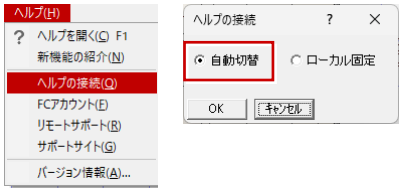


ヘルプ・BEST FAQ

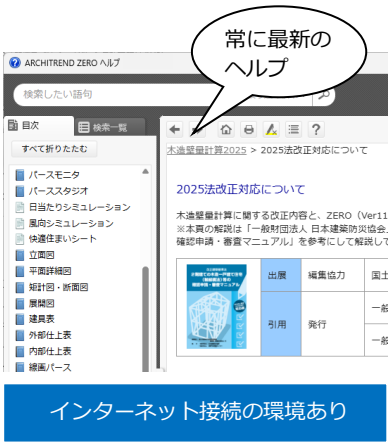
Web ヘルプへの移行

常に最新版の Web ヘルプを閲覧いただくために、ZERO Ver.12 よりオンラインヘルプに移行しました。
ぜひオンラインヘルプをご利用ください。

オンラインヘルプの利用により、新規およびバージョンアップインストール時にヘルプのインストールが不要となり、プログラムのセットアップ時間が大幅に短縮されます。

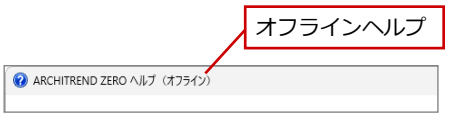


「ヘルプ」メニューの「ヘルプの接続」で、「自動切替」が ON であることを確認してください。



インターネットが接続できない環境でヘルプを利用する場合

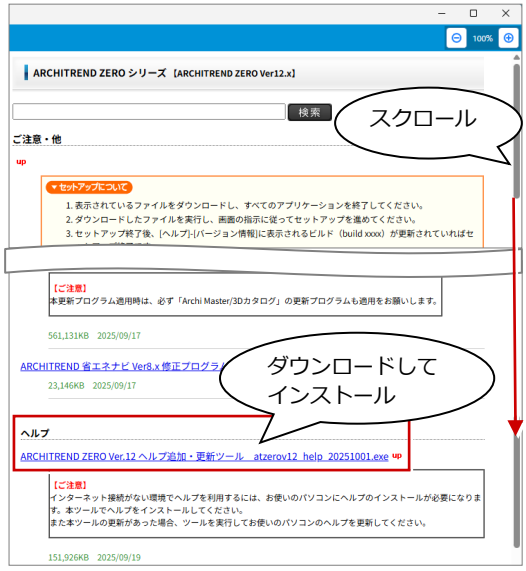
新規インストールおよびバージョンアップ後、インターネットに接続されていない状態でヘルプを開くと、右の画面になります。



【オフラインのヘルプ】

インターネットが接続できない環境でヘルプを利用するには、予めインターネット接続できる環境で、FC アカウントよりヘルプファイルのダウンロードとインストールをおこなってください。

※ FC アカウント「プログラムの更新」ページにある「マスタ／テンプレートの更新および、製品ごとの修正プログラムを探す」より、「建築・BIM 関連システム」－「ARCHITREND ZERO シリーズ」－「ARCHITREND ZERO Ver.12.x」にある「ヘルプ追加・更新ツール」を実行します。

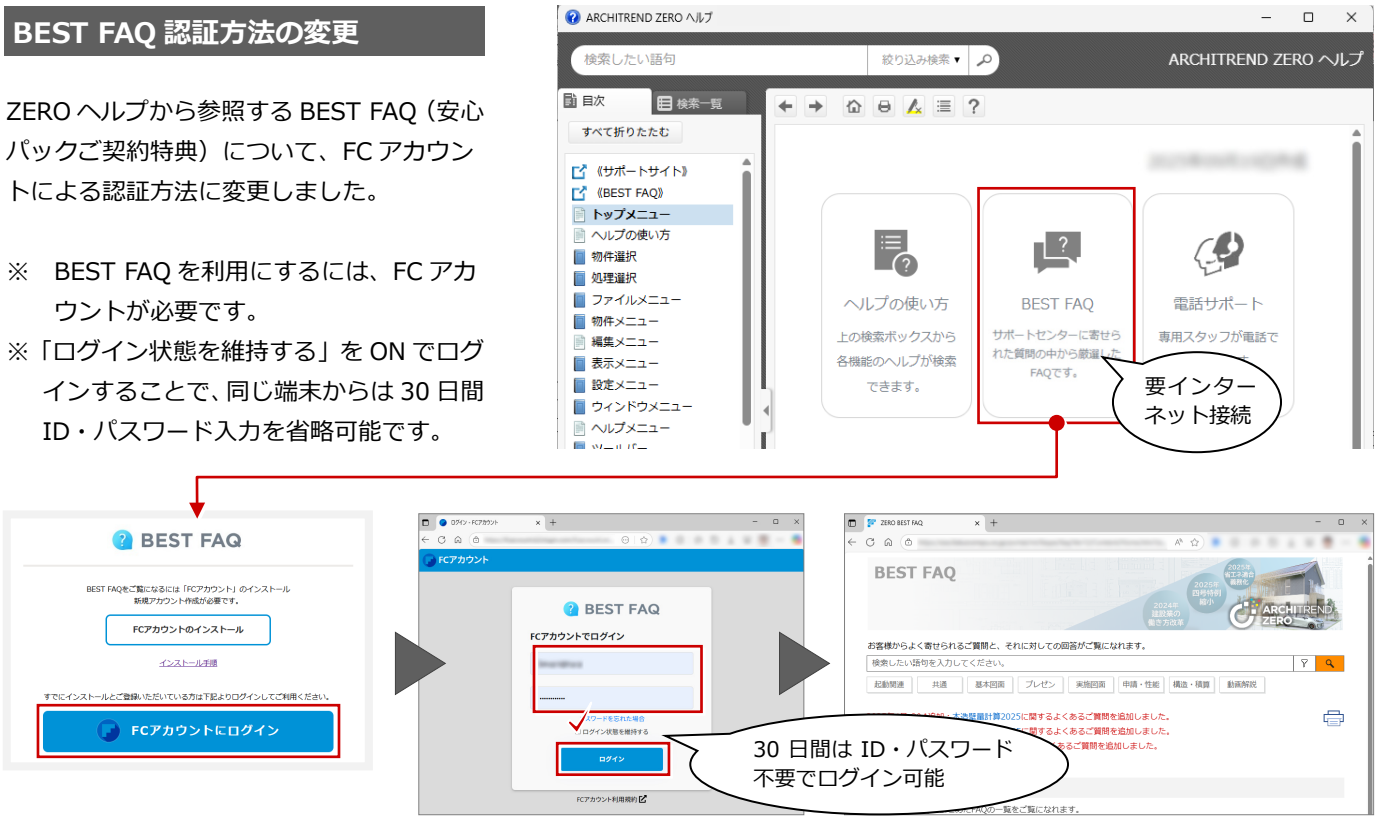


【FC アカウント】

BEST FAQ 認証方法の変更

ZERO ヘルプから参照する BEST FAQ（安心パックご契約特典）について、FC アカウントによる認証方法に変更しました。

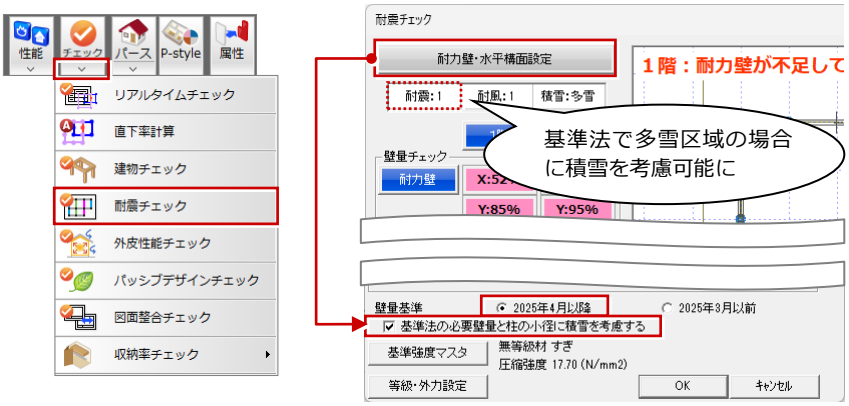
※　BEST FAQ を利用にするには、FC アカウントが必要です。
※「ログイン状態を維持する」を ON でログインすることで、同じ端末からは 30 日間 ID・パスワード入力を省略可能です。



平面図

耐震チェック　積雪考慮

基準法（耐震等級１）の単位面積あたりの必要壁量並び柱の小径に、積雪荷重を考慮可能としました。設計の早期段階で、基準法に積雪を考慮した検討が可能です。

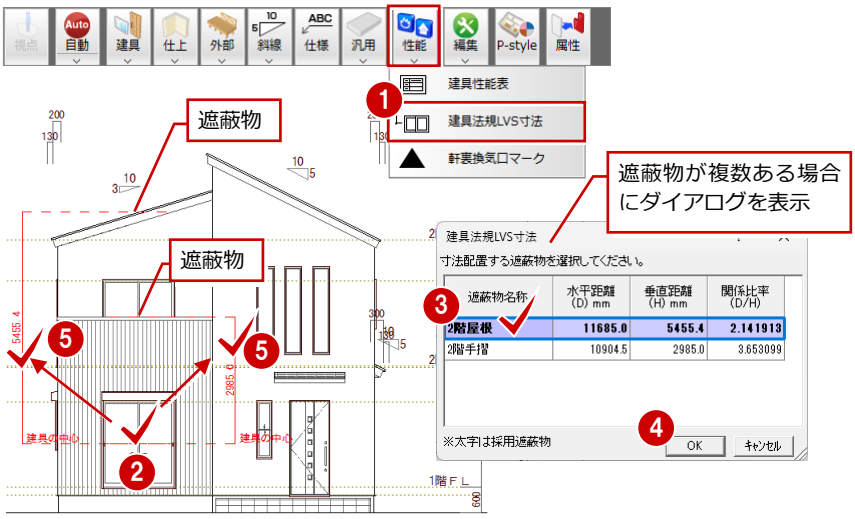


立面図

法規 LVS 寸法の改良

「建具法規 LVS 寸法」コマンドで、遮蔽物が複数ある場合には、複数の遮蔽物高さ寸法を選択表記できるようにしました。
審査機関とのやり取り軽減や、審査機関の審査手間の軽減が期待できます。

※　法規 LVS「複数遮蔽物の根拠表記」の新機能については、P.6 参照
※　本機能を利用するには、事前に法規 LVS プログラムの検討をおこなってください。

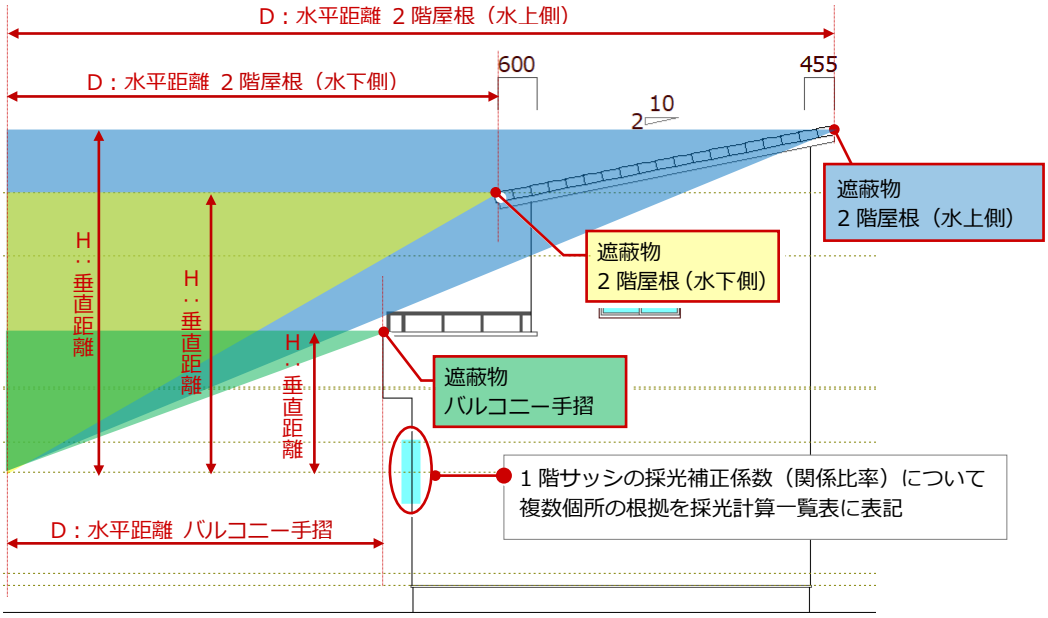


※わかりやすいように建具法規 LVS 寸法を赤色で表示しています。

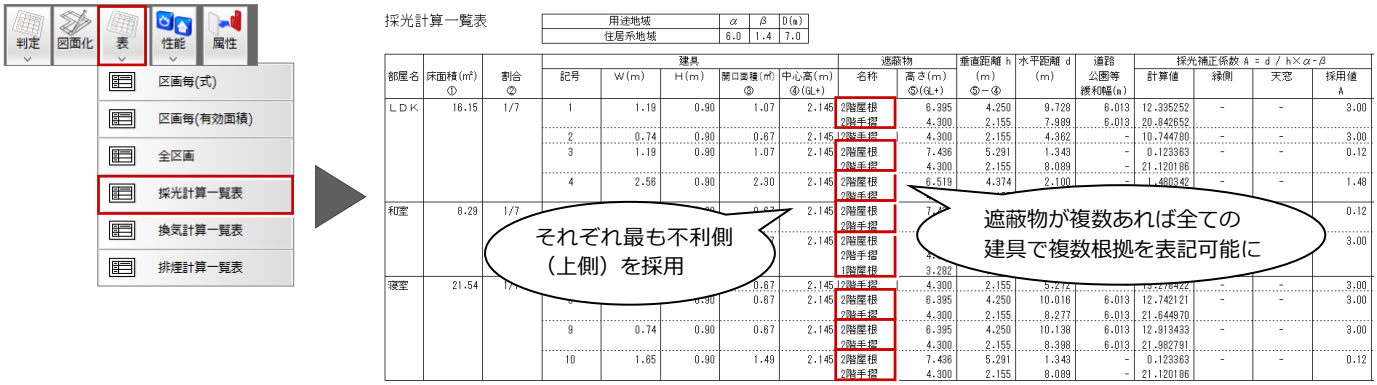
法規 LVS

採光計算 複数遮蔽物の根拠表示

採光計算の採光補正係数算出において、複数の遮蔽物があった場合にそれらの根拠を表記できるように対応しました。



【採光補正係数算出の遮蔽物が複数ある場合】



採光計算一覧表

用途地域	α	β	D(m)
住居系地域	6.0	1.4	7.0

部屋名	床面積(㎡) ①	割合 ②	建具 記号	W(m)	H(m)	開口面積(㎡) ③	中心高(m) ④(GL+)	遮蔽物 名称	高さ(m) ⑤(GL+)	垂直距離 h (m) ⑤−④	水平距離 d (m)	道路 公園等 緩和幅(m)	採光補正係数 A = d / h×α-β 計算値	縁側	天窓	採用値 A
LDK	16.15	1/7	1	1.19	0.90	1.07	2.145	2階屋根	6.395	4.250	9.728	6.013	12.395252	-	-	3.00
								2階手摺	4.300	2.155	7.999	6.013	20.842652			
			2	0.74	0.90	0.67	2.145	2階手摺	4.300	2.155	4.362	-	10.744780	-	-	3.00
			3	1.19	0.90	1.07	2.145	2階屋根	7.436	5.291	1.343	-	0.123363	-	-	0.12
								2階手摺	4.300	2.155	8.089	-	21.120186			
			4	2.56	0.90	2.30	2.145	2階屋根	6.519	4.374	2.100	-	1.480342	-	-	1.48
								2階手摺								
和室	8.29	1/7					2.145	2階屋根								0.12
								2階手摺								
							2.145	2階屋根								3.00
								2階手摺								
								1階屋根	3.282							
寝室	21.54	1/7				0.67	2.145	2階手摺	4.300	2.155	9.274		13.278424	-	-	3.00
					0.90	0.67	2.145	2階屋根	6.395	4.250	10.016	6.013	12.742121	-	-	3.00
								2階手摺	4.300	2.155	8.277	6.013	21.644970			
			9	0.74	0.90	0.67	2.145	2階屋根	6.395	4.250	10.138	6.013	12.913433	-	-	3.00
								2階手摺	4.300	2.155	8.398	6.013	21.982791			
			10	1.65	0.90	1.49	2.145	2階屋根	7.436	5.291	1.343	-	0.123363	-	-	0.12
								2階手摺	4.300	2.155	8.099	-	21.120186			

従来の採光計算一覧表では、遮蔽物は 1 つのみ表記していました。ZERO が採用している遮蔽物は、関係比率が小さいものではありますが、審査機関ではその他の遮蔽物を検査する必要があります。機能アップにより、正しい遮蔽対象の確認が容易にでき、審査機関の審査省略・時間短縮や、設計者の手戻り軽減につながります。

換気計算一覧表

換気計算一覧表の作図コマンドを新設しました。換気においての計算根拠が一目で把握できます。

換気計算一覧表

部屋名	床面積(m²) ①	割合 ②	建具 記号	W(m)	H(m)	開口面積(㎡) ③	種別	開放部係数 ④	開き角度有効係数⑤	換気有効面積(㎡) ③×④×⑤	換気有効面積合計(m²)		必要面積(m²) ①×②	判定
LDK	29.82	1/20	1	1.65	2.00	3.30	引違い2枚	1/2	-	1.65				
			2	0.74	0.90	0.66	上げ下げ	1/2	-	0.33				
			3	1.65	1.10	1.81	引違い2枚	1/2	-	0.90	2.88	≧	1.50	OK

排煙計算一覧表

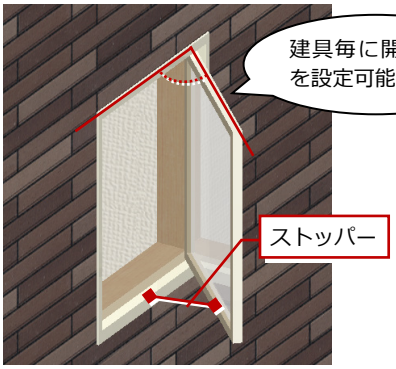
排煙計算一覧表の作図コマンドを新設しました。排煙においての計算根拠が一目で把握できます。

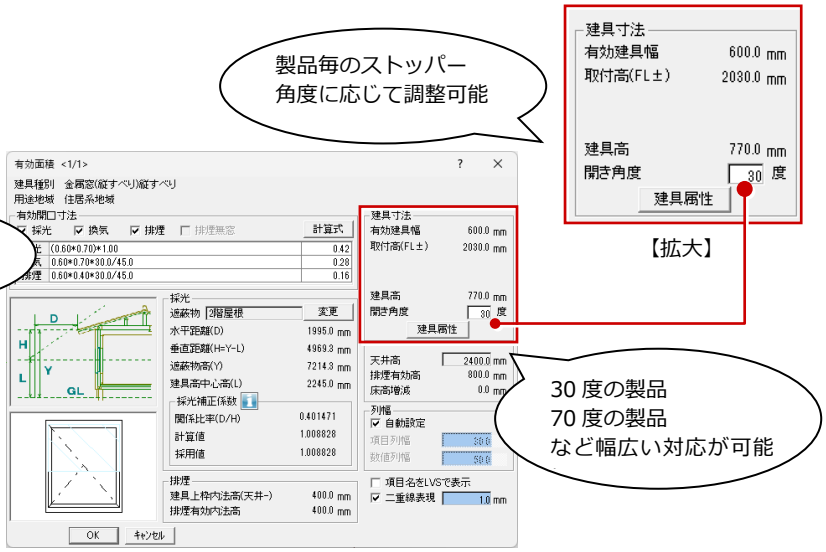
排煙計算一覧表

区画名	床面積(m²) ①	割合 ②	建具 記号	天井高(m)	取付高FL±(m)	排煙有効高(m)	W(m)	排煙有効内法高H(m)	開口面積(㎡) ③	種別	開放部係数 ④	開き角度有効係数⑤	排煙有効面積(㎡) ③×④×⑤	排煙有効面積合計(m²)		必要面積(m²) ①×②	判定
LDK	29.82	1/50	1	2.40	2.00	0.80	1.65	0.40	0.66	引違い2枚	1/2	-	0.33				
			2	2.40	2.00	0.80	0.74	0.00	0.00	上げ下げ	1/1	-	0.00				
			3	2.40	2.00	0.80	1.65	0.40	0.66	引違い2枚	1/2	-	0.33	0.66	≧	0.60	OK

有効面積「開き角度」の拡張

各有効建具に「開き角度」を個別に設定できるように対応しました。建具毎に開き角度ストッパーを設けた場合にも対応可能です。

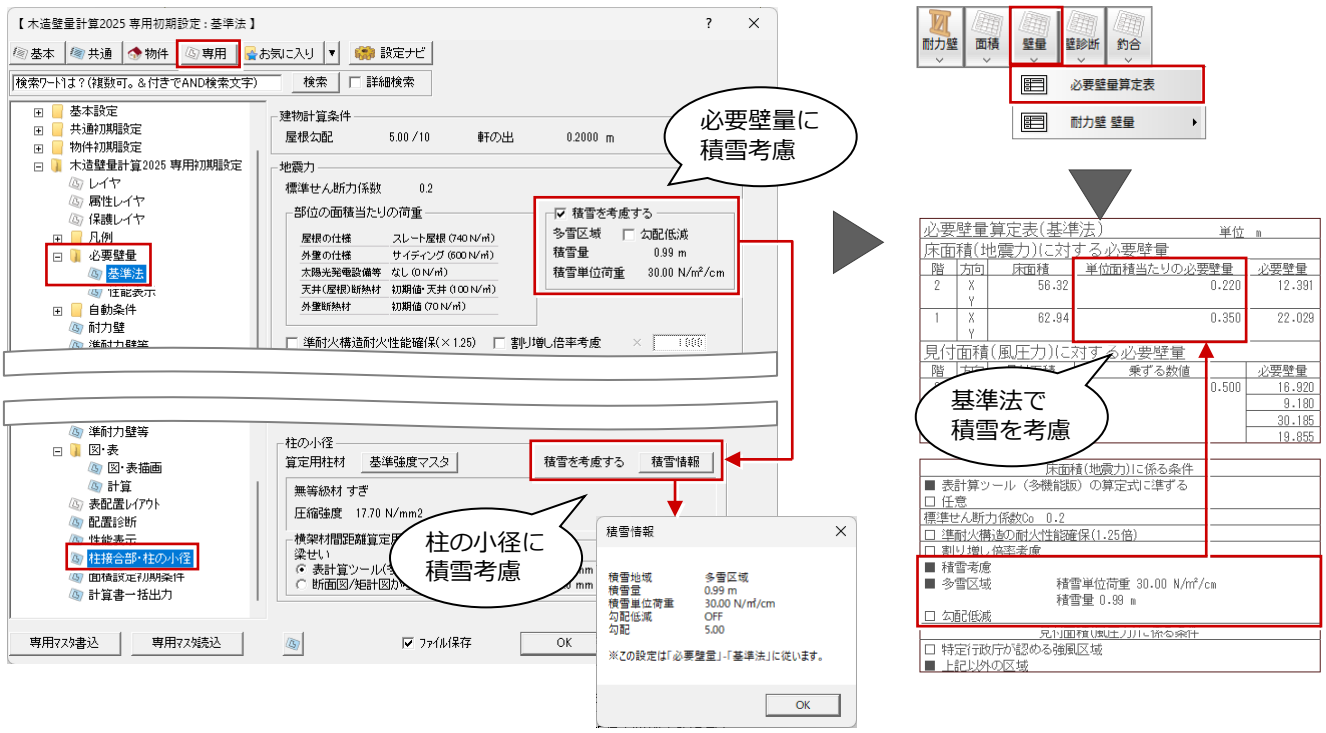




木造壁量計算 2025

基準法の積雪考慮

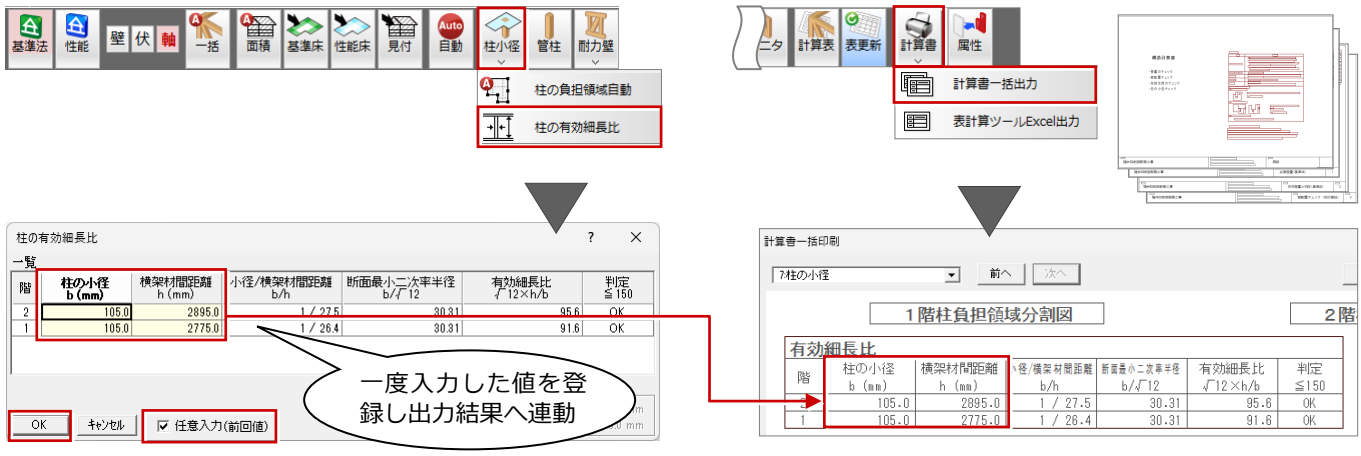
基準法の「単位面積当たりの必要壁量の算定」「柱小径の算定」において、積雪を考慮できるように対応しました。
多雪区域では、より安心安全な構造設計ができるようになり設計の自由度が向上します。



※　日本住宅・木材技術センターの「表計算ツール（多機能版）」では、基準法の検討において積雪は考慮されない為、積雪を考慮する場合には事前に申請機関に相談の上検討してください。
※　「北海道版表計算ツール」とは算定結果が異なります。算定式について詳しくはプログラムヘルプを確認してください。

有効細長比の任意入力結果を出力

有効細長比を任意入力した値で計算書出力に反映できるようにしました。また、任意入力した値を保持するようにしました。
「計算書一括出力」や、「木造壁量計算表 2025」の「有効細長比」へ結果が連動し、図面修正の手間を削減します。



一括自動の床面積連動元を拡張

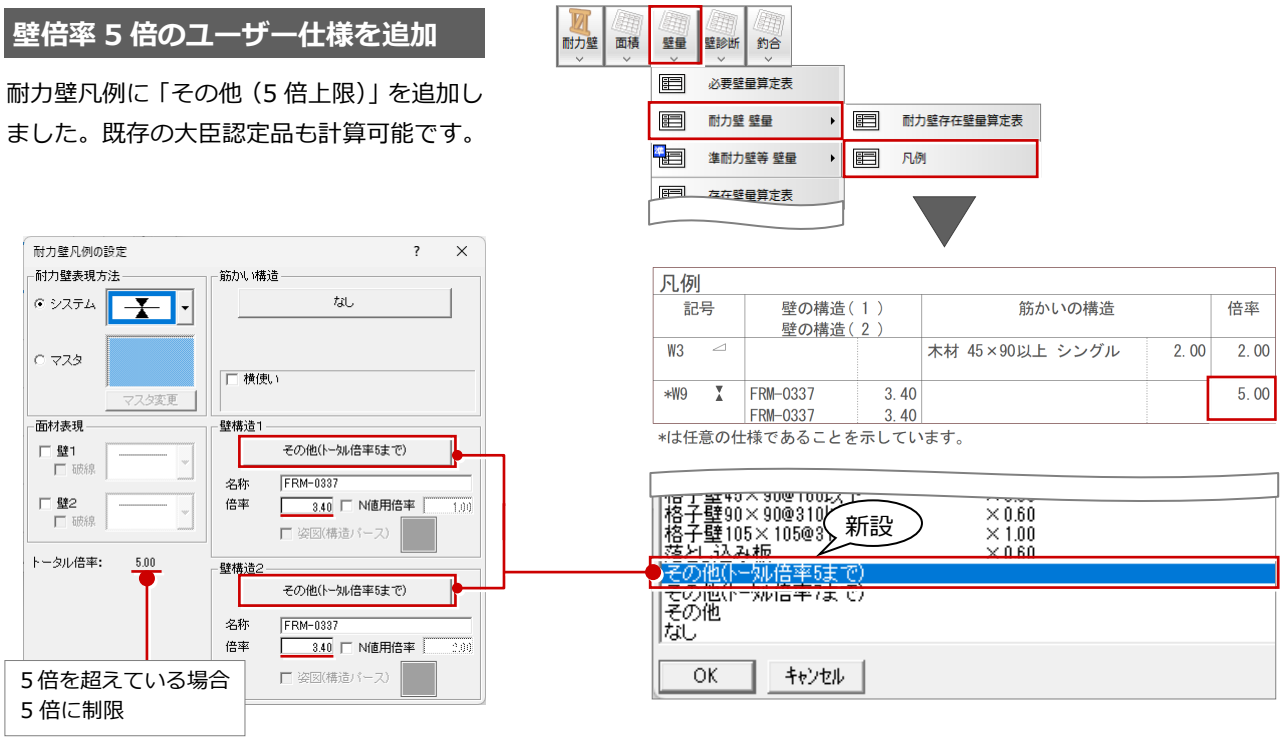
「一括自動」コマンドで設定する床面積について、床面積の取得元を選択できるように対応しました。
従来は
・「単位面積当たりの必要壁量」を算出する為の床面積
・「単位面積当たりの必要壁量」に乗ずる床面積
の 2 つに相違がありましたが、床面積の統一や、小屋裏や吹抜面積の考慮が可能になり設計の自由度が向上しました。

	床面積の種類	役　割	床面積の特徴
❶	一括 床面積表・物件情報※手入力可能 ※「一括自動」で設定する床面積	「必要壁量算定表」の「**単位面積当たりの必要壁量**」算出に利用する ❶ 床面積です。	「表計算ツール（多機能版）」に則った床面積で、小屋裏面積を含みません。
❷	基準床「床面積設定を開く（基準法）」	基準法での「必要壁量算定表」の「必要壁量」は**「単位面積当たりの必要壁量」**×「**床面積**」で算出され、この ❷ 床面積として利用されます。	基準法の床面積設定は見下げのため、大方は ❶ 床面積と同じ面積の取り方となりますが、吹抜・小屋裏などが算入される点などが異なます。
❸	性能床「床面積設定を開く（性能表示）」	性能表示での「必要壁量算定表」の「必要壁量」は「**単位面積当たりの必要壁量**」×「**床面積**」で算出され、この ❸ 床面積として利用されます。	性能表示の床面積設定は見上げとなり、吹抜・小屋裏などが算入されます。

※　同様に「ツール」メニューの「必要壁量再計算」の「再取得」コマンドでも床面積の選択が可能になります。

壁倍率 5 倍のユーザー仕様を追加

耐力壁凡例に「その他（5 倍上限）」を追加しました。既存の大臣認定品も計算可能です。

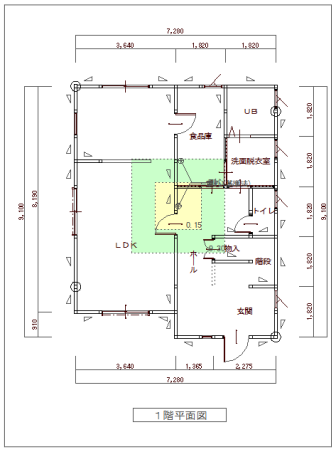


※　本機能は、平面図・平面詳細図・木造壁量計算・木造壁量計算 2025・2×4 壁量計算・2×4 壁量計算 2025・木造床小屋伏図で同様に対応しました。「トータル倍率 5 倍まで」「トータル倍率 7 倍まで」を、それぞれ利用できます。詳しくはプログラムヘルプを確認してください。

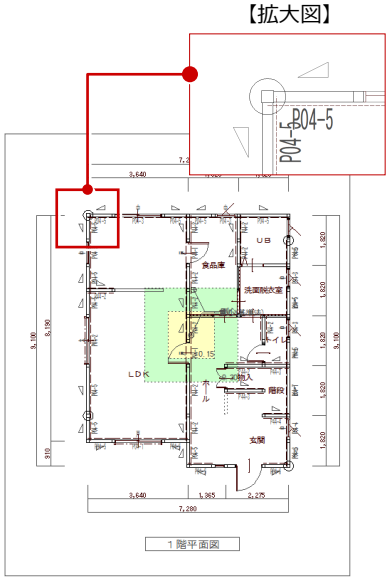
平面図に準耐力壁等を描画

木造壁量計算表 2025 の「基準法」メニューの「平面図」コマンドで、準耐力壁等の描画に対応しました。準耐力壁等倍率計算表や準耐力壁等存在壁量算定表と照らし合わせて、根拠確認が可能になりました。

【木造壁量計算表 2025】



【Ver.11】 準耐力壁等不出力



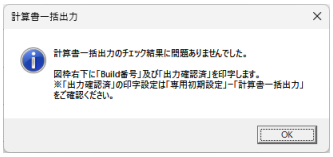
【Ver.12】 準耐力壁等を出力

計算書一括出力時の NG チェック

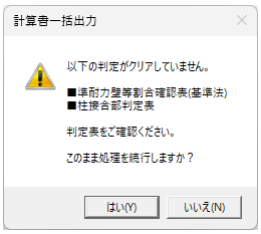
「計算書一括出力」の実行時に、面積登録不備などの「データチェック」や「各出力表の判定表チェック」および、他図面との「整合チェック」をおこなうように対応しました。チェック項目をクリアすれば、「出力確認済」の印字をするようにしました。
申請前に、出力物のヒューマンエラーを回避します。

データチェック/判定表チェック／整合チェック

OK の場合

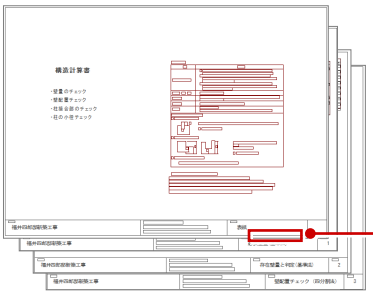


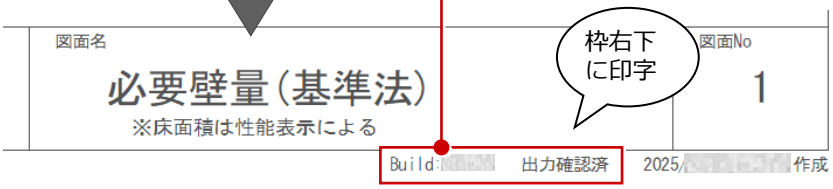
NG の場合（例）



図面の再チェックへ

申請前に事前の修正を促します





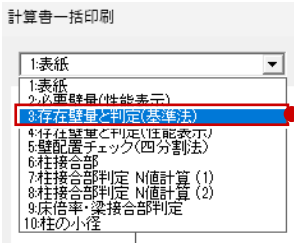
※ 本機能を利用するには、「専用初期設定：計算書一括出力」で「出力確認済の印字」を ON にしてください。
※ 面積の登録不備・耐力壁が存在しない場合・階高が適用範囲外の場合等には、注意メッセージを表示してコマンドを中断します。詳しくはプログラムヘルプを確認してください。

有効細長比の申請精度向上

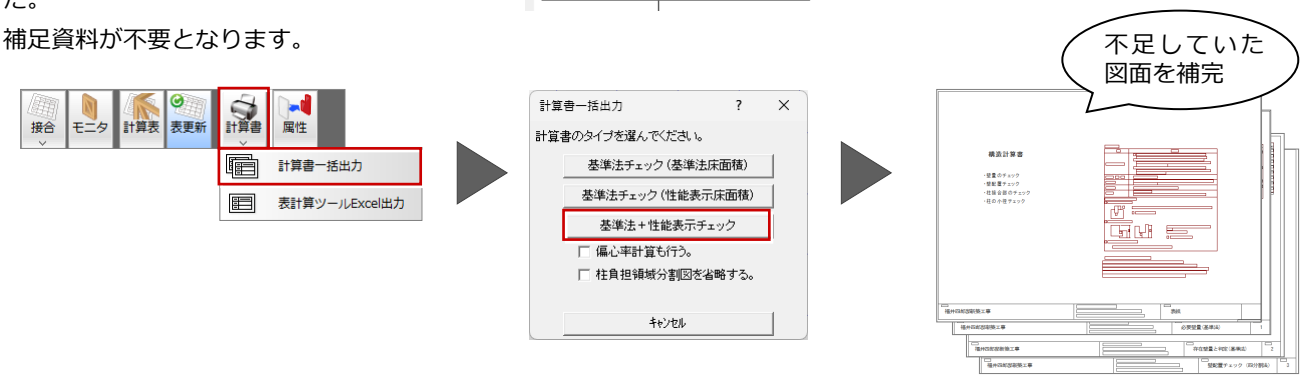
断面図・矩計図の梁せい（横架材間寸法設定）を採用して有効細長比を求めれらるように対応しました。断面図・矩計図との整合が取れます。

計算書一括出力の申請精度向上

基準法に採用しない準耐力壁等がある場合、「計算書一括出力」で「存在壁量と判定（基準法）」ページを追加出力するようにしました。
補足資料が不要となります。



準耐力壁等の入力があり、かつ基準法と性能表示で準耐力壁等に差異がある場合に、従来は図面が不足していました。
不足していた図面「3:存在壁量と判定（基準法）」を出力するように対応しました。

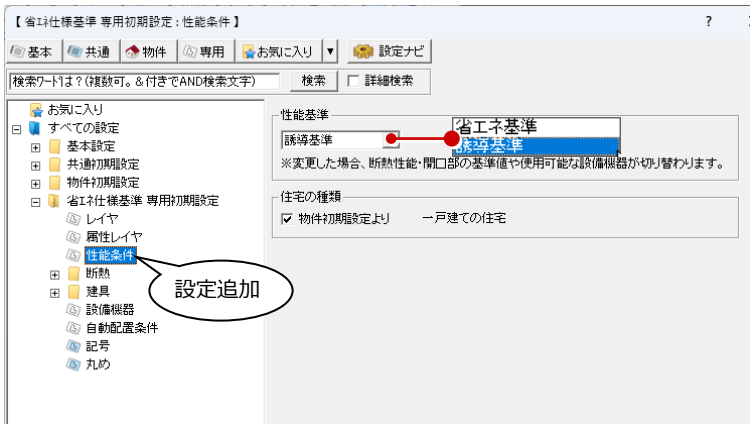


省エネ仕様基準

誘導基準対応：性能基準切り替え

誘導仕様基準に対応しました。
長期優良住宅、低炭素、性能評価に利用できる基準となり、仕様基準（誘導基準）が申請に利用できるようになります。
また 2030 年義務化に向け先行対応しています。

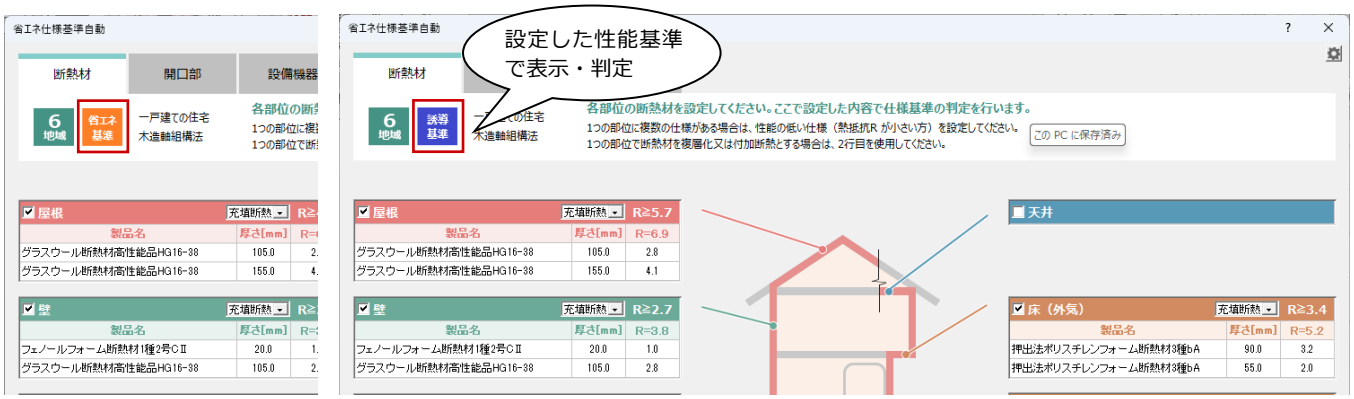
・専用初期設定に「性能条件」が追加され、性能基準の切り替えができます。



【専用初期設定：性能条件】

・入力画面の「省エネ基準」「誘導基準」をクリックでも性能基準の切り替えができます。切り替え時には、仕様表の内容を参照することができ、検討が必要な仕様を確認できます。

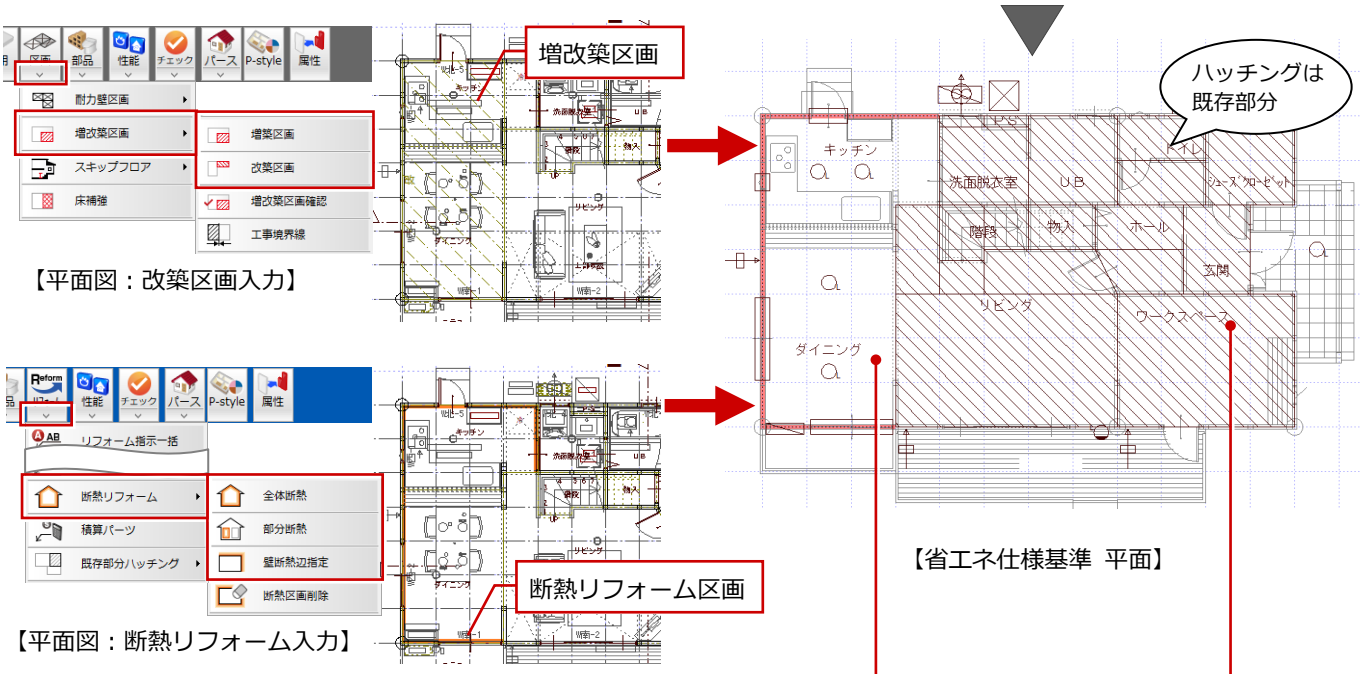
・「省エネ仕様基準自動」ダイアログでは、「省エネ基準」「誘導基準」それぞれの基準値を表示・参照します。この他に、開口部一覧や設備機器一覧、仕様表なども同様です。



【省エネ基準の場合】　　【誘導基準の場合】

増改築対応：省エネ仕様基準自動

増改築区画、もしくは計画図の断熱リフォーム区画を考慮して断熱範囲や部屋、建具情報などを作図できるよう対応しました。
増改築の申請物件データを作成する手間が軽減します。



増改築対応：増改築既存部分

部屋区画に「増改築既存部分」設定を設け、描画や範囲の判定を考慮するようにしました。
増改築データで既存部分が分かりやすくなり、各種判定でも対象領域を判別できるようになります。

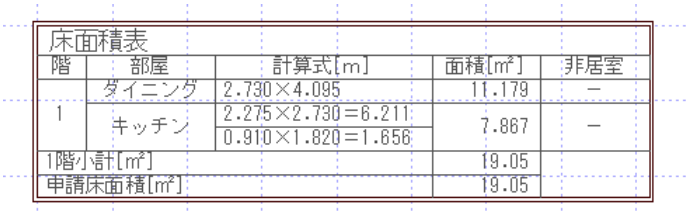
増改築対応：各図表の「申請床面積」表記

新築での「延床面積」と表記している個所を増改築では「申請床面積」になるよう対応しました。増改築申請の表作成手間が軽減します。

【仕様表】

増改築対応：床面積表

増改築対象の部屋のみ集計するように対応しました。
増改築申請の表作成手間が軽減します。



床面積表

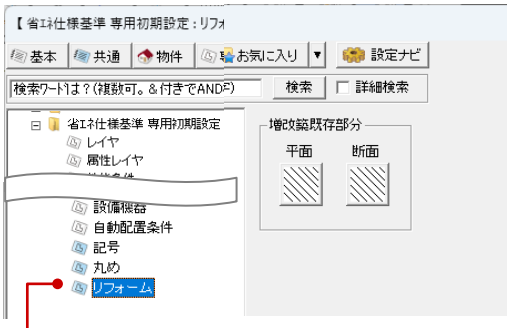
階	部屋	計算式[m]	面積[㎡]	非居室
1	ダイニング	2.730×4.095	11.179	－
	キッチン	2.275×2.730＝6.211 0.910×1.820＝1.656	7.867	－
1階小計[㎡]			19.05	
申請床面積[㎡]			19.05	

【床面積表】

増改築対応：平面、断面

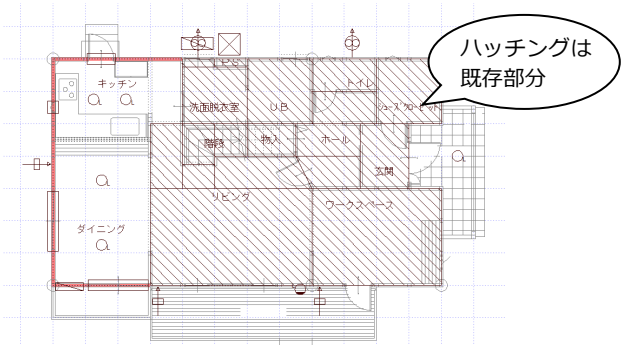
既存範囲をハッチングで作図するようにしました。
平面や断面での既存領域の作図手間が軽減します。

・専用初期設定に「リフォーム」が追加され、平面や断面で既存部分を描画するときのハッチングを設定できます。

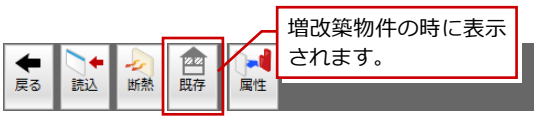


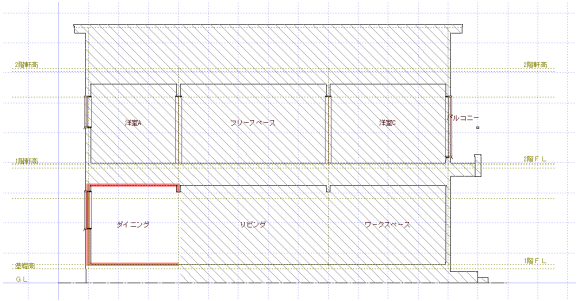
【専用初期設定：リフォーム】

増改築物件の時に表示されます。



【省エネ仕様基準 平面】

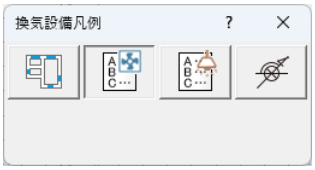




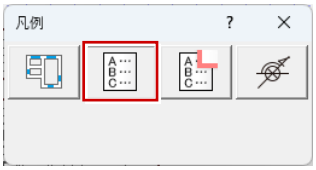
【省エネ仕様基準 断面】

増改築対応：凡例

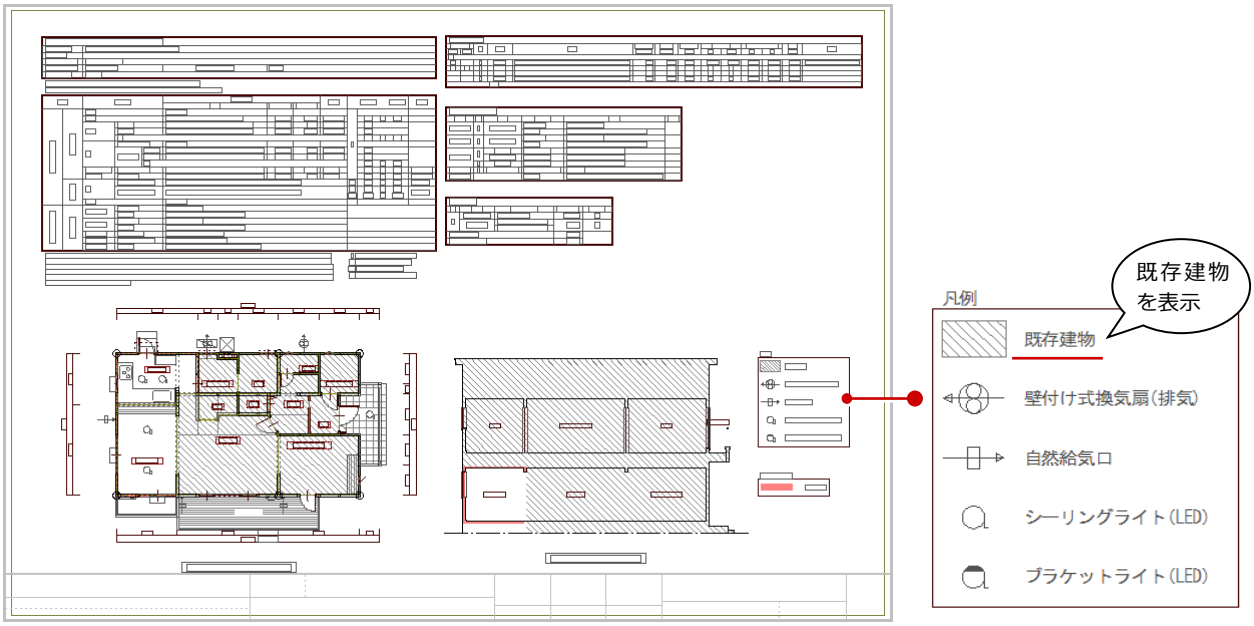
「換気設備凡例」「照明設備凡例」を一つの凡例とし、既存部分のハッチング表現が追加されるように対応しました。
増改築申請の作図手間が軽減します。



【従来（Ver11.1)】



【Ver12】

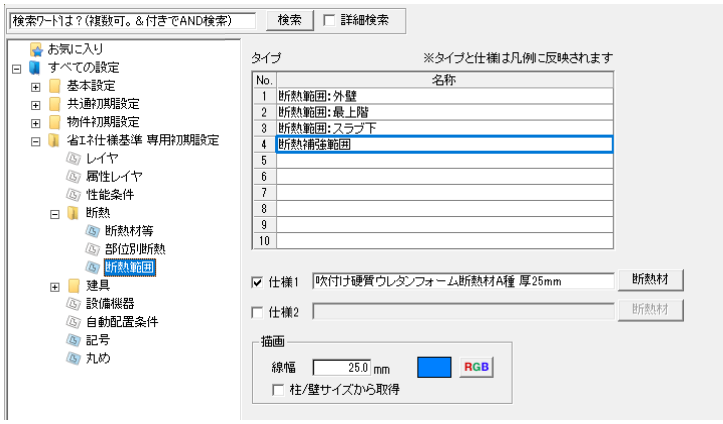


【省エネ仕様基準図】

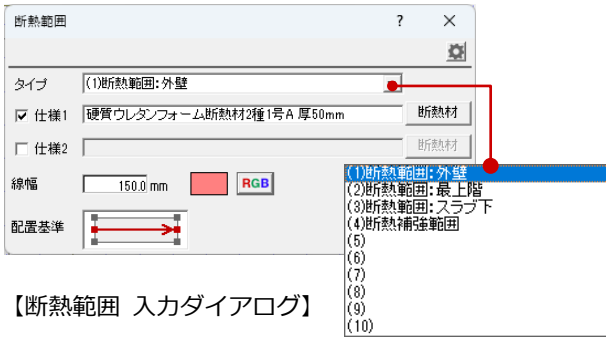
増改築 RC 物件対応：平面・断面の断熱範囲

断熱仕様ごとの色分けや、RC など補強断熱の表現ができるよう断熱範囲のマスタ登録ができるように対応しました。異なる断熱材の表現や増改築範囲での断熱領域の色分けが簡単にできるようになります。

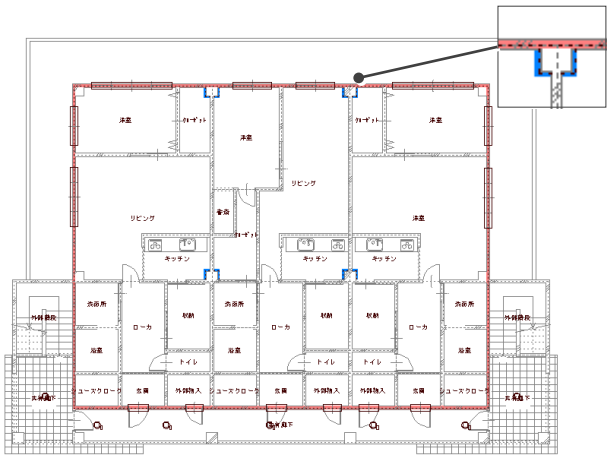
・共 同 住 宅 の 場 合 ： 住戸の状況によって断熱材を色分けして入力できます。
・RC 造 な ど の 場 合 ： 熱橋部の表現が可能となりました。断熱材の配置位置を示す図面としても利用できます。
・リフォーム物件の場合：断熱仕様の違いを色分けで表現することが可能です。



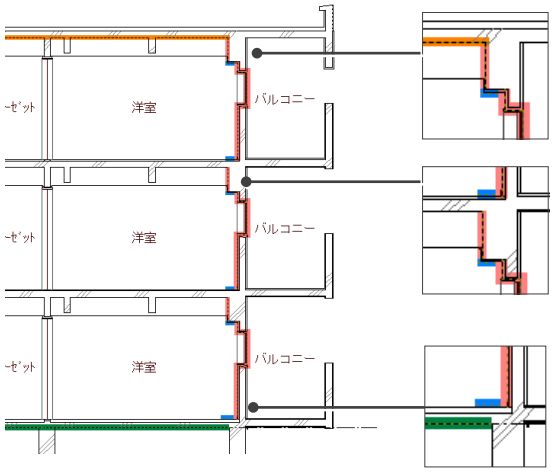
【専用初期設定：断熱－断熱範囲】



【断熱範囲 入力ダイアログ】



【省エネ仕様基準 平面】

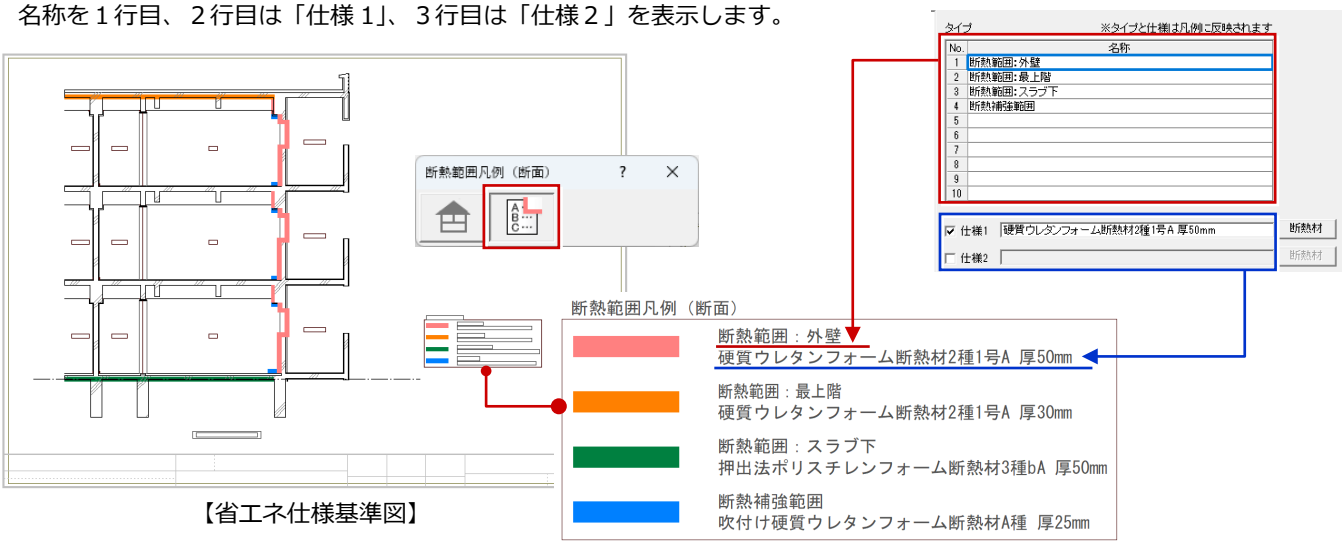


【省エネ仕様基準 断面】

増改築 RC 物件対応：断熱仕様凡例

入力されている断熱範囲の断熱仕様凡例を作図できるよう対応しました。

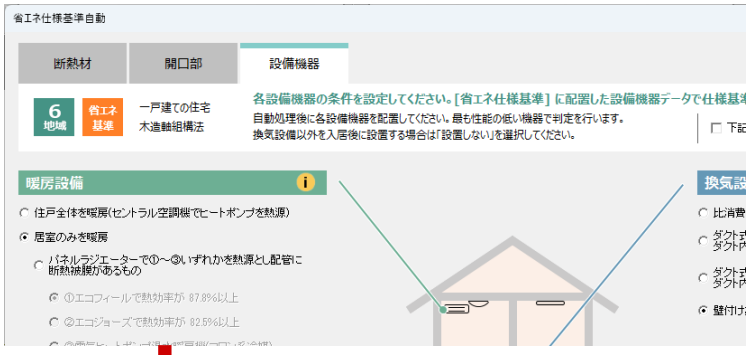
・省エネ仕様基準図で「断熱範囲凡例」を配置すると、「専用初期設定：断熱－断熱範囲」で登録した設定した「タイプ」の名称を１行目、２行目は「仕様１」、３行目は「仕様２」を表示します。



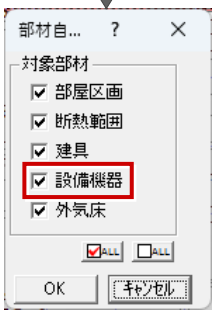
【省エネ仕様基準図】

設備機器の自動配置に対応

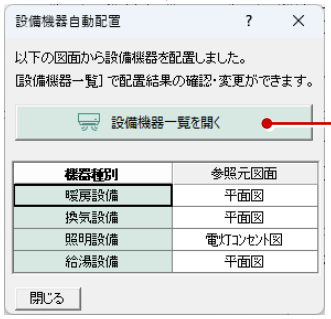
平面図の壁付換気設備シンボルや3Dカタログ部品等から省エネ設備機器シンボルに置き換えて自動配置できるようにしました。
設備の入力手間の軽減になります。



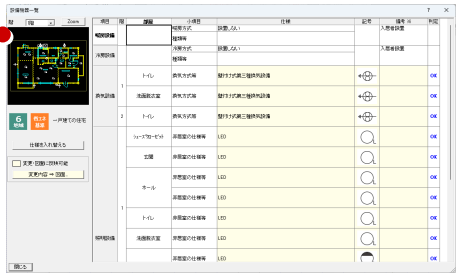
【従来（Ver11.1)】

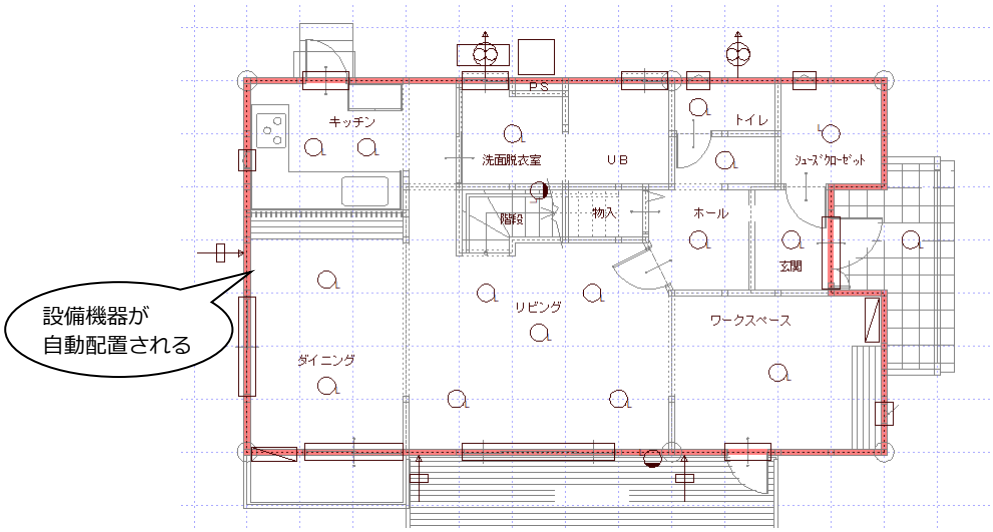


【Ver12】



「設備機器一覧を開く」をクリックすると、配置された設備機器の確認や変更、変更内容を図面に反映することもできます。





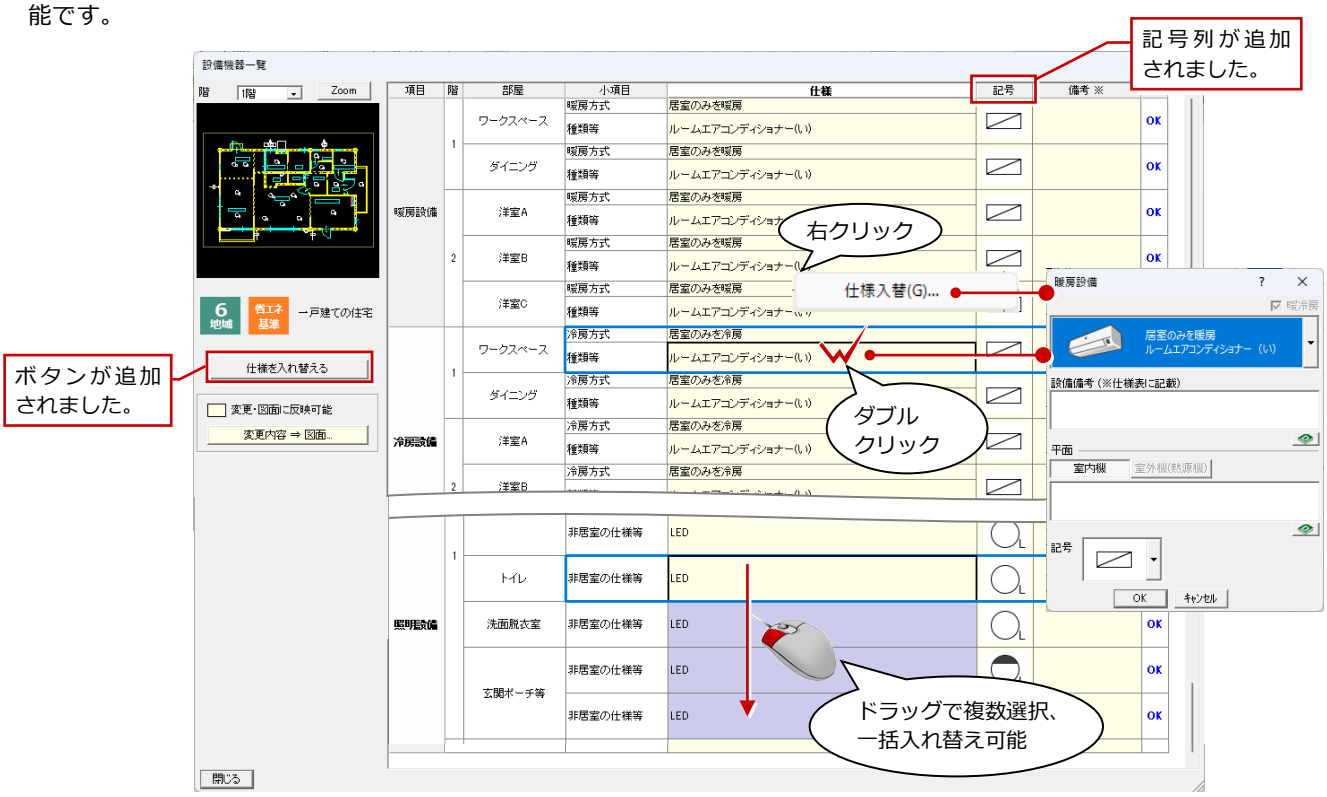
※ 設備を入力している図面によって、以下の表のような優先度で配置します。

優先度	図面	換気	暖房	冷房	給湯	照明
高い	シックハウスチェック	換気設備				
	電灯コンセント図					照明設備記号
低い	天井伏図	部品	部品	部品		部品
	平面図	壁付換気設備	部品	部品	部品	部品

設備機器一覧表から仕様入れ替えに対応

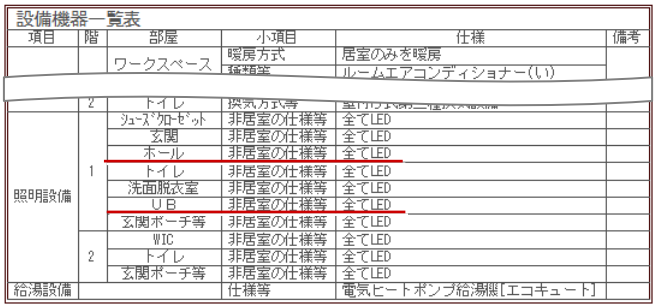
一覧から設備仕様を入れ替える機能を追加しました。設備を入れ替える編集の手間が軽減します。
省エネ基準から誘導基準に切り替えた場合などに活用できます。

・「記号」欄を追加して容易に確認できるようになりました。
・「設備機器一覧」ダイアログ内で、仕様入れ替えができるようになりました。ドラッグで仕様を選択して一括入れ替えも可能です。

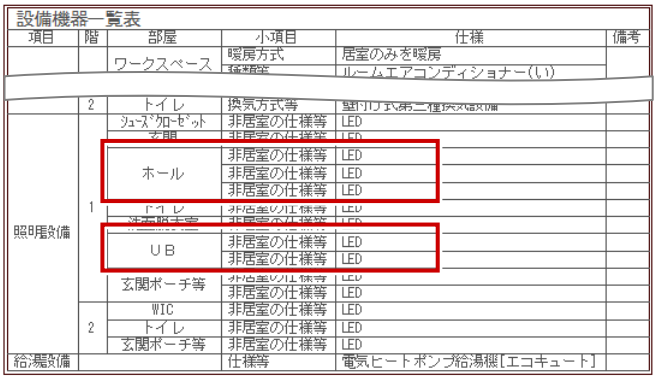


設備機器一覧表で照明をまとめて表示

同部屋、同仕様の照明をまとめる機能を追加しました。
照明が多い場合に表が長くなる場合があるため、まとめて省スペース化することができます。



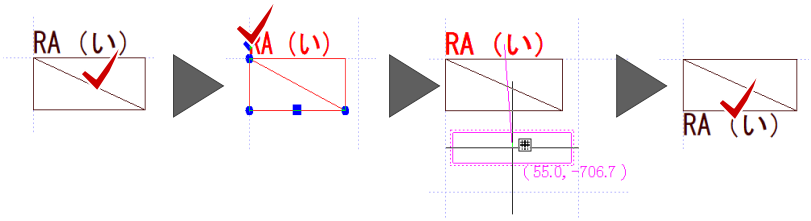
【ON の場合】



【OFF の場合】

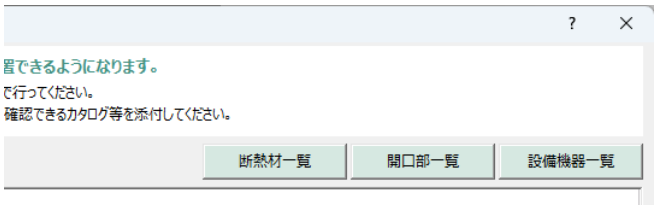
設備機器機能拡張：配置後の文字移動

CAD 文字をトラッカ移動にて文字位置変更可能としました。
設備の仕様入れ替えや、後で文字を追加したときに、文字の位置調整を簡単におこなうことができ作図手間の軽減になります。

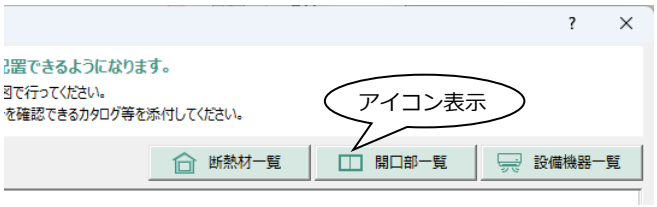


仕様表にアイコン追加

仕様表の各一覧ボタンにアイコンを追加しました。
仕様詳細を確認するためのボタンの視認性が高まり選びやすくなります。



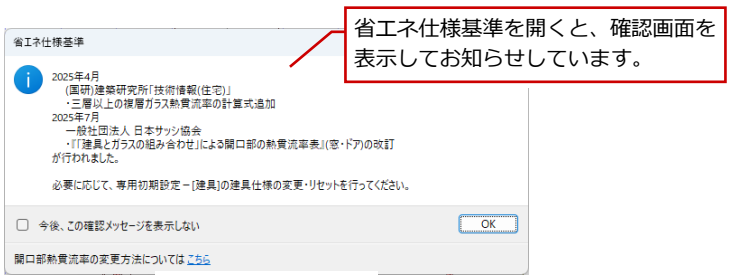
【従来（Ver11.1）】



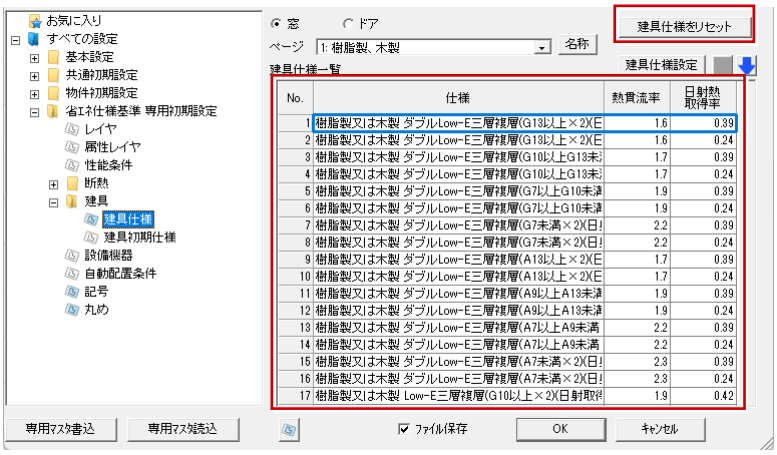
【Ver12】

法改正対応：ガラス三層の仕様

ガラス三層以上の計算が公開されたため、サッシ協会の資料に合わせマスタを更新しました。
既存のマスタに関しては手動での修正をお願いすることになります。

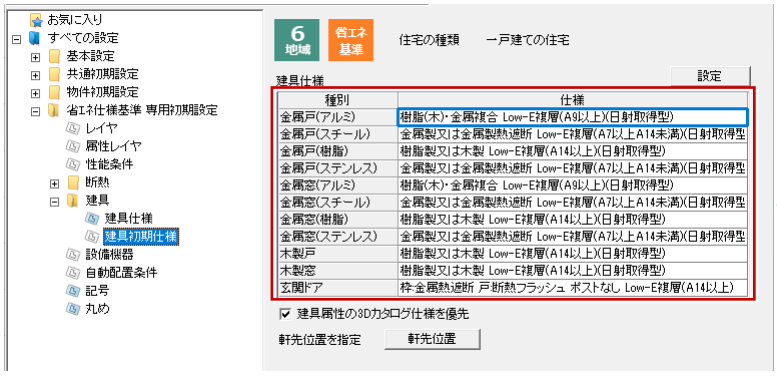


【省エネ仕様基準】



【専用初期設定：建具－建具仕様】

2つの設定画面内容が一度に更新される



【専用初期設定：建具－建具初期仕様】

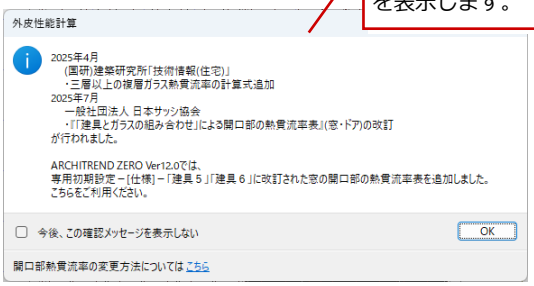
外皮性能計算

2025 年 7 月改訂の熱貫流率に対応

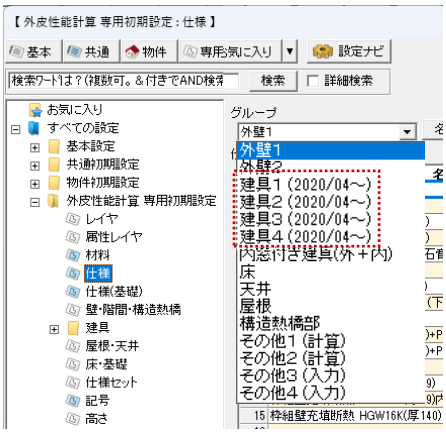
ガラス三層以上の計算が公開されたため、一般社団法人 日本サッシ協会の資料に合わせマスタを更新しました。

「専用初期設定：仕様」のグループ「建具 5」「建具 6」のページが追加され新しい仕様リストが利用できるようになります。

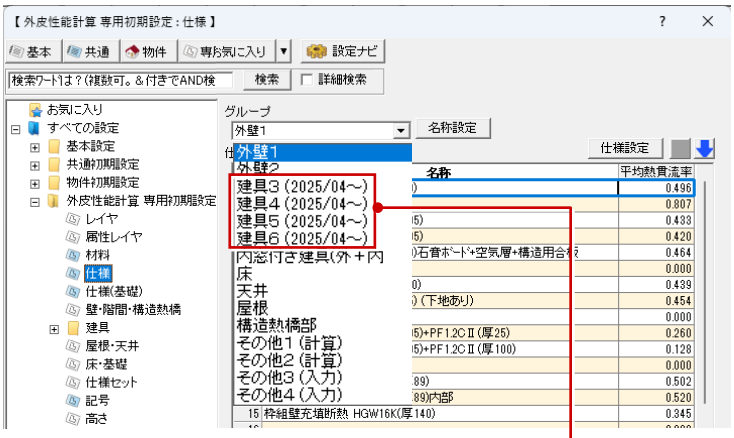
外皮性能計算を開くと、確認画面を表示します。



【外皮性能計算】



【従来（Ver11.1） 専用初期設定：仕様】

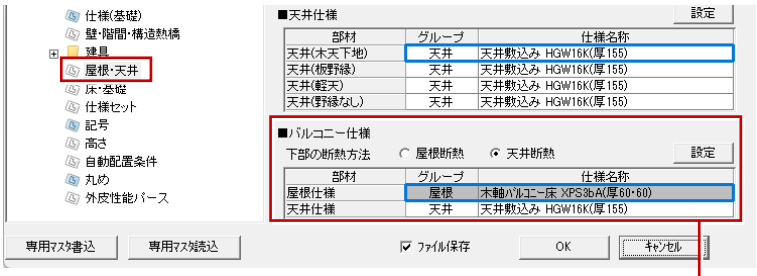


【Ver12 専用初期設定：仕様】

建具 3・4 は「戸」、建具 5・6 は「窓」の仕様を登録しているグループです。
詳細な解説は、ヘルプの「2025 年 7 月 一般社団法人 日本サッシ協会の熱貫流率表改訂の対応」を参照してください。

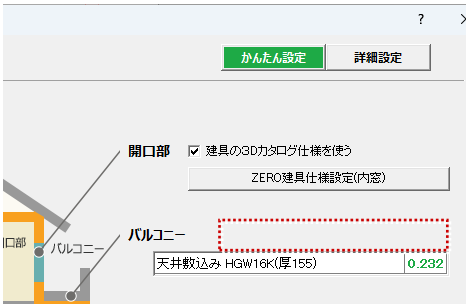
バルコニー断熱方法 屋根・天井選択可能に

「自動配置条件設定」ダイアログの「かんたん設定」で、バルコニー下部の断熱仕様を「屋根断熱」もしくは「天井断熱」のどちらにするか選択できるようにしました。
自動で配置される仕様の参照先を選ぶことができるようになり、編集手間の軽減につながります。



【専用初期設定：屋根・天井】

専用初期設定の
■バルコニー仕様を参照



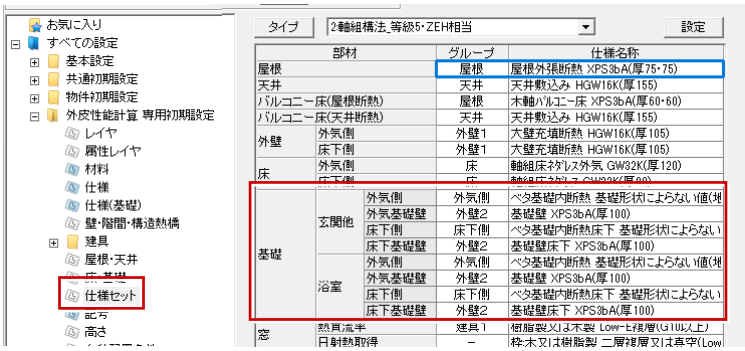
【従来（Ver11.1）】

【Ver12】

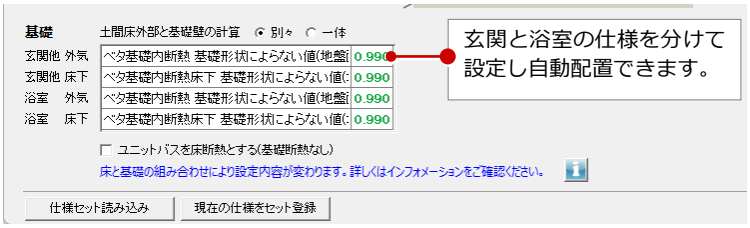
仕様セットの基礎 浴室と玄関に対応

「自動配置条件設定」ダイアログの「かんたん設定」で土間床外部と基礎壁の仕様を玄関と浴室で分けて自動配置できるようにしました。
自動で配置される基礎の仕様を分けたい場合に対応できるようにしました。編集手間の軽減につながります。

【従来（Ver11.1】



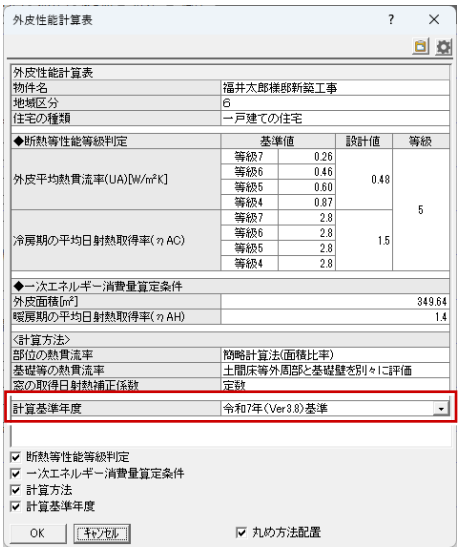
【Ver12 専用初期設定：仕様セット】



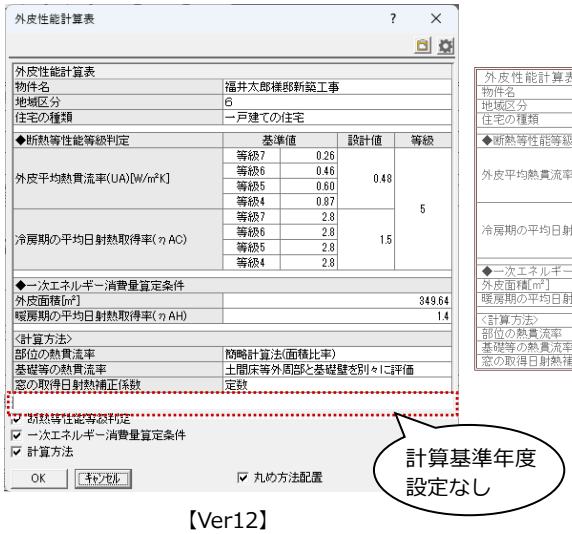
【Ver12 自動配置条件設定「かんたん設定」】

外皮性能計算表「計算基準年度」非表示

計算基準年度の設定と表への表記を廃止しました。
基準年度が必要だった時の機能が残っていたため、不要な表記をしないようになり確認手間も軽減します。



【従来 Ver11.1】



【Ver12】